

SuperHファミリ用シミュレータデバッグ V.9.10.01 へのリビジョンアップのお知らせ

SuperHファミリ用シミュレータデバッグをV.9.10.00からV.9.10.01にリビジョン アップしました。
本製品はSuperHファミリ用C/C++コンパイラパッケージにバンドルされています。

1. リビジョンアップ内容

1.1 改訂されたシミュレータデバッグ

本リビジョンアップでは、以下のシミュレータデバッグを更新しました。

- SH2A-FPU用シミュレータデバッグ
デバッグターゲット名 : SH2A-FPU Simulator Target Platform
- SH-4A,SH4AL-DSP用シミュレータデバッグ
デバッグターゲット名 : SH4A,SH4AL-DSP Simulator Target Platform
- 拡張機能付きSH-4A,SH4AL-DSP用シミュレータデバッグ
デバッグターゲット名 : SH4A(SH-X2),SH4AL-DSP(SH-X2) Simulator Target Platform

上記以外のシミュレータデバッグはSuperHファミリ用シミュレータデバッグ
V.9.10.00に含まれるものと同じです。

1.2 機能改善

拡張機能付きSH-4A用シミュレータデバッグ使用時の注意事項について改善
しました。

注意事項の詳細は、以下のURLでRENESAS TOOL NEWS 資料番号101201/tn1を
参照ください。

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=101201tn1>

これにより、内蔵メモリ制御レジスタ (RAMCR) の設定を変更することなく、
拡張機能付きSH-4A用シミュレータデバッグで、URAM領域へアクセス
できるようになりました。(注)

なおこのため、RAMCRの設定変更によってURAM領域へのアクセス可否を
切り替えることはできなくなりました。

注 : URAM領域のメモリが確保されている場合のみ。

1.3 改修内容

1.1項で述べた3つのシミュレータについて、プログラム実行中に周辺機能シミュレーションモジュールをハードウェアマニュアルに記載されていないアクセスサイズでアクセスすると、シミュレータデバグが応答しなくなる場合がある問題を改修しました。

2. アップデート方法

無償でオンラインアップデートできます。以下のいずれかの方法でアップデートしてください。

(1) オートアップデートユーティリティを使用する。

(5月24日からサービス開始予定)

(2) 以下のダウンロードサイトからアップデートプログラムをダウンロードして実行する。(5月20日からアップデートプログラム公開予定)。

https://www.renesas.com/sh_sim_download

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。